

## 第17回 宇部・小野田圏域緩和ケア事例検討会報告

緩和ケアセンター事務局

平成30年11月14日(水)に、第17回 宇部・小野田圏域緩和ケア事例検討会が山口大学医学部附属病院新中央診療棟1階多目的室1で開催されました。切れ目のない緩和ケアを実現するために、事例検討を通じて顔の見える緩和ケア連携体制の構築及び連携強化を図ることを目的とし、院内外の医師、看護師、薬剤師など参加され合計29名の参加者となりました。

当院の腫瘍センター副センター長吉野茂文医師より開会の挨拶があり、当院の緩和ケアセンター山縣裕史医師を司会として、各施設より事例提示があった後、グループ形式で討議を行いました。

### 事例：「治療拒否で退院したが、家族と薬剤師の支援により外来治療が継続できた咽頭がん事例」

山口大学医学部附属病院 耳鼻咽喉科 廣瀬 敬信先生  
山口大学医学部附属病院 看護部 帯山 美紅先生  
西日本薬局 管理薬剤師 大坪 泰昭先生

グループ討議では、様々な視点から活発に意見が出され、参加者の方々からは、「早期からの退院調整が大事であることが良く分かった。地域の薬剤師さんがこんなにも細やかに柔軟に対応してくださっていることを改めて知り外来でもチーム医療が大切なのだとわかりました」などの意見が寄せられ有意義な検討会となりました。

この度は、様々な職種の方々に検討会に御参加して頂き、誠にありがとうございます。本検討会は、今後も継続して行う予定ですので皆様のご参加を心よりお待ちしております。

今後ともご理解、ご協力よろしくお願い申し上げます。

### 《検討会風景》



